

地方	九 州				地方	被救助人員	救助人員	被救助人員	救助人員
	宮崎	大分	福岡	佐賀					
明治廿八年	六	一	二	一	二	九	四	二	二
同廿七年	一	三	五	二	一	二	四	五	三
同廿六年	四	一	一	一	一	三	二	三	二
總計	一一	五	八	三	五	一四	一〇	一〇	七

表中被救助人員ノミアリテ救助人員ノナキモノハ該救助者ノ褒章ハ内閣賞勳局ヨリ直
チニ下賜セラレタルニ由ル

第三七五

海員及水先人審問判定

明治二十八年

種別	免狀禁止		免狀停止		免狀計		將來警戒	無構	合計
	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人			
衝礁及乘揚突	1	0	1	0	2	0	0	0	2
難破	1	0	1	0	2	0	0	0	2
火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瀛嶽損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
其他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
總計	2	0	2	0	4	0	0	0	4

第三七六

官設航路標識

明治二十九年三月三十一日

同二十三年	同二十四年	同二十五年	同二十六年	同二十七年
3	2	1	0	0
1	0	0	0	0
1	0	0	0	0
1	0	0	0	0
2	3	8	3	1
1	2	1	1	1
1	0	1	0	0
1	0	1	0	0
1	0	1	0	0
3	7	28	5	2
1	0	1	0	0
1	0	1	0	0
1	0	1	0	0
3	7	28	5	2
1	0	1	0	0
1	0	1	0	0
1	0	1	0	0
5	14	44	10	4
3	7	28	5	2
3	7	28	5	2
3	7	28	5	2

區畫別	本州					總計	木造	石造	煉化石造	鐵造	合計	自水面至燈火	光達距離	浮標	立標	看守人員
	中區	西區	北區	東區	南區											
明治二十七年	33	26	25	26	33	35	1	0	0	0	35	3	1	0	1	
同二十六年	30	19	19	19	30	31	0	0	0	31	4	1	0	0	1	
同二十五年	26	19	19	19	26	26	0	0	0	26	4	1	0	0	1	
同二十四年	23	18	18	18	23	23	0	0	0	23	5	1	0	0	1	
同二十三年	22	18	18	18	22	22	0	0	0	22	5	1	0	0	1	
總計	142	91	91	91	142	142	1	0	0	142	21	5	1	0	5	

水運

海員及水先人審問判定

官設航路標識

第三七七 公私設航路標識

明治二十八年十二月三十一日

表中夜標ノ内本州西區ニ在ルコンクリート造ノ立標二基及九州區ニ在ル同造ノ燈臺一基ハ煉化石造中ニ北海道ニ在ル木鐵交互造ノ燈臺一基ハ鐵造中ニ算入ス○浮標及立標ハ元晝標ナルモ夜標兼用ノモノハ之ヲ夜標中ニ合算ス○本表ノ外臨時横濱築港局ノ燈船二艘及同局在勤ノ看守二人其他任所未定ノ看守八人アリ又臺灣ニ燈臺四燈竿一浮標五立標一アリ

明治元年七月ヨリ同二十七年ニ至ル官設航路標識ノ建築費ヲ掲グレバ左ノ如シ

燈臺	一、五六三、九九一	燈竿	一、二四二
燈船	八、二四一	浮標	三、四二二
霧警號	三、六九三	立標	六、八七六
		合計	一、七二三、二六四

右ノ外明治二十五年ニ陸軍省所管ノ浮標建築費二千六百二十七圓アリ

區畫別	本州				九州	四國	總計	明治二十七年	明治二十六年
	中區	西區	北區	計					
夜標	木造	二					四〇	四六	四八
	石造						八	二〇	二二
燈臺	煉化石造				二		二		
	鐵造及青銅造						二	二	三
合計	自水面至燈火	二					五三	六一	六四
	三十尺未満三十尺以上						二一	二一	二七
燈竿	五湊未満	九					二二	二二	二九
	五湊以上	一					一	二	三
合計	五湊未満	九					二四	二四	三二
	五湊以上	一					二	二	三
浮標									
	立標								
合計									
	合計	八					八	八	九
看守人員									
	合計	一六					八	八	九

第三七八 官公私設航路標識維持費及燈費收入高

明治二十八年十二月三十一日

本表ハ總テ公設私設ヲ合算シタルモノナリ因テ之ヲ公設ト私設トニ分チ且ツ夜標ト晝標トノ種類ヲ擧グレバ左ノ如シ

種別	公設				私設				其他私設	合計
	夜標	燈臺	燈竿	合計	夜標	燈臺	燈竿	合計		
同二十五年				五五				一四		五五
同二十四年				五八				一五		五八
同二十三年				六〇				一八		六〇
合計				一七三				四七		二二〇

前記ノ公設又ハ私設トアルハ航路標識管理所ノ指揮監督ヲ受ケルモノナリ○夜標中ノ私設ハ總テ其燈費ヲ通航ノ船舶ヨリ徴收ス又公設ハ多クハ地方税市町村費ヲ以テ其維持費ヲ支辨スルガ故ニ燈費ヲ徴收スルモノ少シ

明治十八年ヨリ同二十八年ニ至ル公設航路標識ノ建築費ヲ掲グレバ左ノ如シ

燈臺	六、七三〇	燈竿	四、五七四
燈船	二、四六九	浮標	五
		立標	七、六七七
		合計	一、五〇一、五

種別	官設	公設	私設
維持費	六、九〇〇	六、一〇三	五、九三三
燈臺	六、九〇〇	六、一〇三	五、九三三
燈竿	六、一五七	六、八一七	六、八八八
燈船	二、四六九	七、八一七	五、〇二二
浮標	五	七、八一七	五、八二四
立標	四七〇	七、八一七	五、八二四
合計	一、五〇一、五	一、五〇一、五	一、五〇一、五